（様式1）

公共交通特定事業計画（駅舎、鉄道車両）

【特定旅客施設名：大正駅】
【事業者名 西日本旅客鉄道株式会社】

令和6年9月末現在

No		整備項目	整備等の内容	整備状況と主な整備内容		整備時期	区分
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック	車両の乗降口から公共通路までの移動動線上に敷設	整備済み	－	－	維持更新
	2	音案内	エレベーターの到着する籠の昇降方向を知らせる設備の設置	整備済み	－	－	維持更新
			エスカレーターの行き先及び昇降方向を知らせる設備の設置	未整備	未整備箇所は、取替時期に検討。	－	○
			トイレの出入口付近において、男女別等を知らせる案内装置の設置	整備済み	－	－	維持更新
			ホーム上にある出入口に通ずる階段位置を知らせる案内装置の設置	整備済み	－	－	維持更新
	3	案内・誘導	駅舎内での一貫した連続性のある案内誘導設備及び乗り換えや周辺施設等への案内設備の設置	未整備	案内表示の改善（文字の太さなど読みやすさ）	－	○
			他施設及び他事業者・他路線への乗継ぎ経路等へのわかりやすい案内設備の設置の検討	検討中	案内表示の改善に向けた検討	－	○
			移動等円滑化のための主要な設備（EV、傾斜路、便所、乗車券等販売所、待合室、案内所、休憩所）の付近への案内用図記号（ピクトグラム）の設置	整備済み	－	－	維持更新
			異常時に改札付近等における情報の提供	整備済み	ディスプレイ等を整備済み	－	維持更新
			移動等円滑化のための主要な設備の配置を音、点字等により示す案内板等を設置し、当該設備の設置を音声等により知らせる案内設備の設置[対象：無人駅、無人改札（時間帯無人含む）]	対象外			
			◇多機能式インターホンを設置し、当該設備の設置を文字及び音声等により知らせる案内設備の設置[対象：無人駅、無人改札（時間帯無人含む）]	対象外			
	4	切符の購入	車椅子使用者に配慮した蹴込み構造の検討	検討中	大規模改良時に検討	－	○
			精算機の構造や仕様を、障がいのある方が使用できるものとするよう検討	未整備	－	－	－
			障がいの特性に応じた操作性を確保し、遠隔対応型等、双方向のコミュニケーションが可能な仕様の券売機等の設置を検討	整備済み	みどりの窓口にて対応	－	－
	5	拡張改札口の設置	拡幅改札口の設置	整備済み	－	－	維持更新
	6	エレベーター	ホームから公共用通路まで1以上の経路の確保	整備済み	－	－	維持更新
			乗り換え経路の確保 [対象：56駅]	整備済み	公共用通路に接続することで確保	－	維持更新
			ホームから公共用通路まで2以上の経路の検討 [対象：大規模駅]	対象外			
			大型化等の検討	検討中	大規模改良時に検討	－	○
	7	階段	階段の手すりに、行先を点字で表示	整備済み	－	－	維持更新
			踏面端部が容易に識別できるように配慮する	整備済み	－	－	維持更新

No		整備項目	整備等の内容	整備状況と主な整備内容		整備時期	区分
その他	8	ホームにおける列車の案内	列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音案内で検討	整備済み	発車標・自動放送を整備済み	－	維持更新
			プラットホーム床面等における、車両内の車椅子スペースに通じる乗降口の位置の表示	未整備	未整備。車種・量数により変動するため、車両側に表示。	－	－
	9	車両とホームとの隙間・段差	隙間・段差を縮小するためのホーム構造や車両構造の改良・整備に向けた検討	検討中	継続検討	－	○
			構造上の理由によりプラットホームの縁端と鉄道車両の旅客用乗降口の床面の縁端との間隔が大きい場合において、旅客に対しこれを警告するための設備等の設置	整備済み	喚起表示等を整備済み	－	維持更新
			渡り板を配備し、適切な乗降介助の実施	整備済み	－	－	－
	10	ホームにおける安全対策	ホームドア又は可動式ホーム柵の設置	未整備	1・2番線整備時期未定	－	－
			ホーム縁端付近に連続した線路側とホーム内側を区別する警告ブロックを敷設	整備済み	－	－	維持更新
			線路側外のプラットホーム両端に転落防止柵を設置	整備済み	－	－	維持更新
	11	トイレ	バリアフリートイレ（車椅子対応トイレを含む）の設置	整備済み	－	－	維持更新
			バリアフリートイレへの大型ベッドの設置の検討	検討中	大規模改良時に検討	－	○
			バリアフリートイレの機能の分散化の検討	整備済み	ベビーチェア等を整備済み	－	－
	12	休憩設備	休憩設備を1以上設置	整備済み	－	－	維持更新
	13	情報提供	ウェブアクセシビリティを確保したウェブサイト等による情報提供	－	検討中	継続検討	継続実施
			異常時における障がいの特性に応じた情報提供の手法の検討	－	自動放送、ディスプレイによる表示で情報提供	－	継続実施
			障がい等の特性に応じたコミュニケーション手法の活用や必要とする支援の提供	－	翻訳機能や筆談機能のあるタブレットを駅係員が所持	－	継続実施
	14	心のバリアフリー	一般利用者に高齢者、障がい者等への配慮を促す等、心のバリアフリーに関する広報・啓発活動の実施	－	エレベーターや優先席の適切な利用等について、車内放送や画像掲出等の実施	継続実施	● （教育啓発※）
			職員への研修・教育の実施	－	・職員の接遇向上や理解促進のためのマニュアル作成や、研修等の実施 ・職員の接遇向上のための資格（サービス介助士）取得推進	継続実施	● （教育啓発※）
			地域や関係団体との連携による多様な障がいの特性や必要な配慮について理解するための取組の実施	－	当事者参加による職員の接遇向上や理解促進のための研修や意見交換会等の開催	継続実施	○ （教育啓発※）

○ この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。　●：特定事業○：関連事業

整備区分	内容	備考
特定事業 ●	整備内容と完成時期を明確にして進める事業	特定事業として進捗管理する事業でかつ評価の対象
関連事業 ○	整備の具体化に向けて検討や関連機関との協議が必要となる事業	関連事業として定期的に進捗の確認を行うが評価の対象外
維持更新	整備済であるが、維持管理時において補修・更新等の機会を捉えて整備を行う事業	必要に応じて実施状況の確認を行う
継続実施	現在でも対策を行っており、継続して実施する事業（主にソフト的な事業）	定期的に進捗の確認を行うが評価の対象外

整備時期は次のとおりです。

前期：令和12(2030)年までに整備

後期：令和17(2035)年までに整備（検討に時間を要するもの、構造の変更を伴い大規模改修等の時期を捉えて実施するもの）

※整備内容が同じであっても、各地区及び施設の状況により整備時期が異なる場合があります。

公共交通特定事業計画（駅舎、鉄道車両）

【特定旅客施設名：ドーム前駅】
【事業者名 阪神電気軌道株式会社】

令和6年9月末現在

No		整備項目	整備等の内容	整備状況と主な整備内容		整備時期	区分
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック	車両の乗降口から公共通路までの移動動線上に敷設	整備済み	JIS規格の視覚障がい者誘導用ブロックを敷設済み	－	維持更新
	2	音案内	エレベーターの到着する籠の昇降方向を知らせる設備の設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
			エスカレーターの行き先及び昇降方向を知らせる設備の設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
			トイレの出入口付近において、男女別等を知らせる案内装置の設置	整備済み	誘導チャイム（音声による案内装置）を設置済み	－	維持更新
			ホーム上にある出入口に通ずる階段位置を知らせる案内装置の設置	整備済み	誘導チャイム（音声による案内装置）を設置済み	－	維持更新
	3	案内・誘導	駅舎内での一貫した連続性のある案内誘導設備及び乗り換えや周辺施設等への案内設備の設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
			他施設及び他事業者・他路線への乗継ぎ経路等へのわかりやすい案内設備の設置の検討	整備済み	改札内外に、吊下げ・壁付け・床面表示等での乗換・施設案内整備済み	－	維持更新
			移動等円滑化のための主要な設備（EV、傾斜路、便所、乗車券等販売所、待合室、案内所、休憩所）の付近への案内用図記号（ピクトグラム）の設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
			異常時に改札付近等における情報の提供	整備済み	改札付近に情報案内ディスプレイを設置し、運行異常時の情報を提供済み	－	維持更新
			移動等円滑化のための主要な設備の配置を音、点字等により示す案内板等を設置し、当該設備の設置を音声等により知らせる案内設備の設置[対象：無人駅、無人改札（時間帯無人含む）]	整備済み	点字案内板付近に誘導チャイム(音声による案内装置)を設置済み。	－	維持更新
			◇多機能式インターホンを設置し、当該設備の設置を文字及び音声等により知らせる案内設備の設置[対象：無人駅、無人改札（時間帯無人含む）]	整備済み	改札口にモニター及び設置位置をお知らせする音声誘導機能などを搭載した多機能式インターホンを設置済み	－	維持更新
	4	切符の購入	車椅子使用者に配慮した蹴込み構造の検討	整備済み	設置済み	－	維持更新
			精算機の構造や仕様を、障がいのある方が使用できるものとするよう検討	整備済み	視覚障がい者向けにテンキーや音声による精算処理ができる精算機を設置済み	－	維持更新
			障がいの特性に応じた操作性を確保し、遠隔対応型等、双方向のコミュニケーションが可能な仕様の券売機等の設置を検討	整備済み	視覚障がい者向けにテンキーや音声による券購入機能やインターホン機能搭載した券売機を設置済み	－	維持更新
	5	拡張改札口の設置	拡幅改札口の設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
	6	エレベーター	ホームから公共用通路まで1以上の経路の確保	整備済み	ホーム～コンコース用と、コンコース～地上用のエレベーターを整備済み	－	維持更新
			乗り換え経路の確保 [対象：56駅]	整備済み	大阪メトロとの乗り換えは、段差解消整備済み	－	維持更新
			ホームから公共用通路まで2以上の経路の検討 [対象：大規模駅]	対象外			
			大型化等の検討	一部整備済み	ホーム～コンコース用エレベーターは22人乗り、コンコース～地上用エレベーターには15人乗りエレベーターを整備済み	－	－
	7	階段	階段の手すりに、行先を点字で表示	整備済み	点字シートを設置済み	－	維持更新
			踏面端部が容易に識別できるように配慮する	整備済み	設置済み	－	維持更新
	8	ホームにおける列車の案内	列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音案内で検討	整備済み	案内表示器や放送設備を設置し、列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音声で提供済み（実施済み）	－	維持更新
			プラットホーム床面等における、車両内の車椅子スペースに通じる乗降口の位置の表示	未整備	列車組成方法により場所が変わるため表示出来ない	－	－
駅舎	9	車両とホームとの隙間・段差	隙間・段差を縮小するためのホーム構造や車両構造の改良・整備に向けた検討	検討中	継続検討 ※段差の目安値を満たすには、車両の規格（床面高さ）の統一などの課題を有しており、継続検討が必要 転落検知マットを平成20年度に整備。	－	○
			構造上の理由によりプラットホームの縁端と鉄道車両の旅客用乗降口の床面の縁端との間隔が大きい場合において、旅客に対しこれを警告するための設備等の設置	整備済み	放送設備による警告を実施済み。ホーム縁端部にCPライン（注意喚起ライン）を設置済み	－	維持更新
			渡り板を配備し、適切な乗降介助の実施	整備済み	実施済み	－	継続実施

No		整備項目	整備等の内容	整備状況と主な整備内容		整備時期	区分
その他	10	ホームにおける安全対策	ホームドア又は可動式ホーム柵の設置	未整備	ホーム柵（可動式又は固定式）の全駅整備として、ドーム前駅にも整備予定であるが、整備時期は未定。	－	○
			ホーム縁端付近に連続した線路側とホーム内側を区別する警告ブロックを敷設	整備済み	JIS規格の警告ブロックを敷設済み	－	維持更新
			線路側外のプラットホーム両端に転落防止柵を設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
	11	トイレ	バリアフリートイレ（車椅子対応トイレを含む）の設置	整備済み	設置済み	－	維持更新
			バリアフリートイレへの大型ベッドの設置の検討	整備済み	設置済み	－	維持更新
			バリアフリートイレの機能の分散化の検討	整備済み	乳幼児用設備を有する便房を設置済み	－	維持更新
	12	休憩設備	休憩設備を1以上設置	整備済み	プラットホーム上にベンチを設置済み	－	維持更新
	13	情報提供	ウェブアクセシビリティを確保したウェブサイト等による情報提供	－	未対応のため、今後検討を実施	継続検討	継続実施
			異常時における障がいの特性に応じた情報提供の手法の検討	－	情報案内ディスプレイ・案内表示器・構内放送にて実施済み	－	継続実施
			障がい等の特性に応じたコミュニケーション手法の活用や必要とする支援の提供	－	筆談やコミュニケーションボードを使用して提供済み	－	継続実施
	14	心のバリアフリー	一般利用者に高齢者、障がい者等への配慮を促す等、心のバリアフリーに関する広報・啓発活動の実施	－	・エレベーターや優先席の適切な利用等について、車内放送や画像掲出等の実施 ・優先席の適切な利用等について、車内巡視の実施 ・マタニティマーク（ボールチェーンキーホルダー）の配布	継続実施	● （教育啓発※）
			職員への研修・教育の実施	－	職員の接遇向上や理解促進のためのマニュアル作成や、研修等の実施	継続実施	● （教育啓発※）
					職員の接遇向上や理解促進のための研修等への参加	継続実施	○ （教育啓発※）
					職員の接遇向上のための資格（サービス介助士）取得推進	継続実施	● （教育啓発※）
			地域や関係団体との連携による多様な障がいの特性や必要な配慮について理解するための取組の実施	－	・当事者参加による職員の接遇向上や理解促進のための研修や意見交換会等の開催	継続実施	○ （教育啓発※）

○ この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。　　●：特定事業○：関連事業

整備区分	内容	備考
特定事業 ●	整備内容と完成時期を明確にして進める事業	特定事業として進捗管理する事業でかつ評価の対象
関連事業 ○	整備の具体化に向けて検討や関連機関との協議が必要となる事業	関連事業として定期的に進捗の確認を行うが評価の対象外
維持更新	整備済であるが、維持管理時において補修・更新等の機会を捉えて整備を行う事業	必要に応じて実施状況の確認を行う
継続実施	現在でも対策を行っており、継続して実施する事業（主にソフト的な事業）	定期的に進捗の確認を行うが評価の対象外

整備時期は次のとおりです。

前期：令和12(2030)年までに整備

後期：令和17(2035)年までに整備（検討に時間を要するもの、構造の変更を伴い大規模改修等の時期を捉えて実施するもの）

※整備内容が同じであっても、各地区及び施設の状況により整備時期が異なる場合があります。

（様式１）

公共交通特定事業計画（駅舎、鉄道車両）

【特定旅客施設名：大正駅】
【事業者名　大阪市高速電気軌道株式会社】

令和6年9月末現在

No		整備項目	整備等の内容	整備状況と主な整備内容		整備時期	区分
駅舎	1	視覚障がい者誘導用ブロック	車両の乗降口から公共通路までの移動動線上に敷設	整備済み	－	－	維持更新
	2	音案内	エレベーターの到着する籠の昇降方向を知らせる設備の設置	未整備	更新に併せて順次整備	後期	●
			エスカレーターの行き先及び昇降方向を知らせる設備の設置	未整備	更新に併せて順次整備	後期	●
			トイレの出入口付近において、男女別等を知らせる案内装置の設置	整備済み	－	－	維持更新
			ホーム上にある出入口に通ずる階段位置を知らせる案内装置の設置	未整備	階段位置を知らせる音案内装置の設置	後期	●
	3	案内・誘導	駅舎内での一貫した連続性のある案内誘導設備及び乗り換えや周辺施設等への案内設備の設置	整備済み	－	－	維持更新
			他施設及び他事業者・他路線への乗継ぎ経路等へのわかりやすい案内設備の設置の検討	整備済み	改札を出た所に周辺案内図（JR大正駅、京セラドーム等）を整備済	－	維持更新
			移動等円滑化のための主要な設備（EV、傾斜路、便所、乗車券等販売所、待合室、案内所、休憩所）の付近への案内用図記号（ピクトグラム）の設置	検討中	階段とスロープを併用している箇所についてはサイン設置を検討	－	○
			異常時に改札付近等における情報の提供	整備済み	サービス情報表示器整備済み	－	維持更新
			移動等円滑化のための主要な設備の配置を音、点字等により示す案内板等を設置し、当該設備の設置を音声等により知らせる案内設備の設置［対象：無人駅、無人改札（時間帯無人含む）］	整備済み	（改札）：トイレ出入口付近に点字案内板及び音声案内装置を設置、音声案内付点字触知図設置	－	維持更新
			◇多機能式インターホンを設置し、当該設備の設置を文字及び音声等により知らせる案内設備の設置［対象：無人駅、無人改札（時間帯無人含む）］	整備済み	（改札）：係員呼出インターフォンのみ設置、駅長室からすぐに対応可能	－	維持更新
				未整備	呼び出しインターホンへの音案内設備を設置	後期	●
				検討中	押しボタンの点字対応を検討	－	○
	4	切符の購入	車椅子使用者に配慮した蹴込み構造の検討	未整備	大規模改造工事に併せて整備	－	○
			精算機の構造や仕様を、障がいのある方が使用できるものとするよう検討	整備済み	障がい者向けに下記のような仕様を実現している。 ・各種投入口、取出口、ハードボタンなどに点字を併記している。 ・金銭投入口はバリアフリー整備ガイドラインに基づき110cm以下の高さとしている。 ・金銭投入口を硬貨複数枚同時一括投入を可能としている。 ・車いす使用者用に70cmの蹴込みを設けている。 ・呼出や取り消しといったハードウェアボタンを車いす使用者が使いやすいよう接客面下部にも設けている。	－	－
			障がいの特性に応じた操作性を確保し、遠隔対応型等、双方向のコミュニケーションが可能な仕様の券売機等の設置を検討	対象外			
駅舎	5	拡張改札口の設置	拡幅改札口の設置	整備済み	－	－	維持更新
	6	エレベーター	ホームから公共用通路まで1以上の経路の確保	整備済み	－	－	維持更新
			乗り換え経路の確保 ［対象：56駅］	整備済み	公共用通路に接続することで確保	－	維持更新
			ホームから公共用通路まで2以上の経路の検討［対象：大規模駅］	未整備	地上（3号）～中階EV整備予定（地上［4号］設置済）	令和7年度	●
			大型化等の検討	一部整備済み	整備基準として15人乗り以上を基本としているが、土地や構造の都合上、11人乗りで整備している。	－	－
	7	階段	階段の手すりに、行先を点字で表示	整備済み	－	－	維持更新

No	整備項目	整備等の内容	整備状況と主な整備内容		整備時期	区分
その他		踏面端部が容易に識別できるように配慮する	整備済み	－	－	維持更新
8	ホームにおける列車の案内	列車の行先・接近・出発に関する情報を文字及び音案内で検討	整備済み	－	－	維持更新
		プラットホーム床面等における、車両内の車椅子スペースに通じる乗降口の位置の表示	整備済み	－	－	維持更新
9	車両とホームとの隙間・段差	隙間・段差を縮小するためのホーム構造や車両構造の改良・整備に向けた検討	整備済み	ホーム床面の嵩上げ・櫛状ゴムの設置により、段差・隙間を縮小済み-	－	維持更新
		構造上の理由によりプラットホームの縁端と鉄道車両の旅客用乗降口の床面の縁端との間隔が大きい場合において、旅客に対しこれを警告するための設備等の設置	対象外			
		渡り板を配備し、適切な乗降介助の実施	整備済み	－	－	－
10	ホームにおける安全対策	ホームドア又は可動式ホーム柵の設置	整備済み	－	－	維持更新
		ホーム縁端付近に連続した線路側とホーム内側を区別する警告ブロックを敷設	整備済み	－	－	維持更新
		線路側外のプラットホーム両端に転落防止柵を設置	整備済み	－	－	維持更新
11	トイレ	バリアフリートイレ（車椅子対応トイレを含む）の設置	整備済み	－	－	維持更新
		バリアフリートイレへの大型ベッドの設置の検討	未整備	スペースの都合上設置が困難。当面整備予定はございません。	－	－
		バリアフリートイレの機能の分散化の検討	整備済み	一般トイレに簡易型オストメイト設置済み	－	－
12	休憩設備	休憩設備を1以上設置	整備済み	－	－	維持更新
13	情報提供	ウェブアクセシビリティを確保したウェブサイト等による情報提供	－	ホームページでは、音声読み上げ、文字の大小、ふりがなの要否が選択可能	－	継続実施
		異常時における障がいの特性に応じた情報提供の手法の検討	－	・サービス情報表示器、旅客案内表示器の設置 ・改札内に筆談パッド、コミュニケーションボードの設置	－	継続実施
		障がい等の特性に応じたコミュニケーション手法の活用や必要とする支援の提供	－	・筆談パッドやコミュニケーションボードの設置 ・駅社員のサービス介助士資格取得	－	継続実施
14	心のバリアフリー	一般利用者に高齢者、障がい者等への配慮を促す等、心のバリアフリーに関する広報・啓発活動の実施	－	エレベーターや優先席の適切な利用等について、車内放送や画像掲出等の実施	継続実施	● （教育啓発※）
		職員への研修・教育の実施	－	・職員の接遇向上や理解促進のためのマニュアル作成や、研修等の実施 ・職員の接遇向上や理解促進のための研修等への参加 ・職員の接遇向上のための資格（サービス介助士）取得推進	継続実施	● （教育啓発※）
		地域や関係団体との連携による多様な障がいの特性や必要な配慮について理解するための取組の実施	－	・当事者参加による職員の接遇向上や理解促進のための研修や意見交換会等の開催 ・当事者団体との連携による「声かけ・サポート」運動への参画	継続実施	● （教育啓発※）

○ この公共交通特定事業計画は、大阪市が独自の様式を定めたうえで各鉄道事業者等に提出を求め、ホームページ用に編集しています。　●：特定事業○：関連事業

整備区分	内容	備考
特定事業 ●	整備内容と完成時期を明確にして進める事業	特定事業として進捗管理する事業でかつ評価の対象
関連事業 ○	整備の具体化に向けて検討や関連機関との協議が必要となる事業	関連事業として定期的に進捗の確認を行うが評価の対象外
維持更新	整備済であるが、維持管理時において補修・更新等の機会を捉えて整備を行う事業	必要に応じて実施状況の確認を行う
継続実施	現在でも対策を行っており、継続して実施する事業（主にソフト的な事業）	定期的に進捗の確認を行うが評価の対象外

整備時期は次のとおりです。

前期：令和12(2030)年までに整備

後期：令和17(2035)年までに整備（検討に時間を要するもの、構造の変更を伴い大規模改修等の時期を捉えて実施するもの）

※整備内容が同じであっても、各地区及び施設の状況により整備時期が異なる場合があります。